

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 設計編3 － (構造設計(その4))

Vol.20

1. IL1(歩行者系道路)の構造設計

(1)IL1(歩行者系道路、歩行者専用道路、自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、公園内道路、広場内道路等)の舗装構造

IL(歩行者系道路)の構造設計は、過去の実施例を基準として行います。IL1(歩行者系道路)の舗装構造を表1に示します。路盤にクラッシャーラン(C-40)や再生クラッシャーラン(RC-40)を使用する場合には、敷砂の路盤への流入を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とします。

表1 歩行者系道路(IL1)の構造設計

ILブロックのタイプ	ILブロックの強度 (N/mm ²)	ILブロック層 (cm)		路盤 (cm) クラッシャーラン または 再生クラッシャーラン	合計 厚さ (cm)
		ILブロック	敷砂		
セグメンタルタイプ または フラッグタイプ	曲げ強度 3.0 以上 または 圧縮強度 17.0 以上	6	3	10	19

(2)IL1(住宅の駐車場など1日数回程度乗用車が駐停車する非公共スペースの駐車場)の舗装構造

IL1(住宅の駐車場など1日数回程度乗用車が駐停車する非公共スペースの駐車場)の舗装構造を表2に示します。

フラックタイプの使用においては、ILブロック舗装の端部処理、端部拘束物の設置、路盤の十分な締め、雨水の良好な排水などに十分に配慮する必要があります。また、路盤にクラッシャーラン(C-40)や再生クラッシャーラン(RC-40)を使用する場合には、敷砂の路盤への流入を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とします。

表2 IL1(住宅の非公共スペース駐車場)の舗装構造

ILブロックのタイプ	ILブロックの強度 (N/mm ²)	ILブロック層 (cm)		路盤 (cm)	合計 厚さ (cm)
		ILブロック	敷砂	クラッシャーラン または 再生クラッシャーラン	
セグメンタルタイプ または フラッグタイプ 注)	曲げ強度 3.0 以上 または 圧縮強度 17.0 以上	6	3	15	24

注)フラッグタイプの寸法は、縦 300mm×横300mmに限定

以上